

## 夢をみる場所

“ソーラーカー工房”は、大きな夢の研究のために建てられた場所です。太陽の光を電気エネルギーに変えて走る車、ソーラーカーの開発・制作を行っています。工房に集う39名のエンジニアのうち、27名が大学生・大学院生、そして高等部生が12名含まれています。



油圧式のブレーキ調整をする作業では、高等部生がシリンダーに油を注ぐ様子を、そばで大学生がじっと見つめ、少しずつ少しずつ進めていきます。

「そんなに緊張しなくても大丈夫。」優しく声をかける先輩に見守られ、作業も順調に行われていきます。

「高等部生は作業が失敗するととても悔しがり、成功した時は走り回って喜びます。そういう素直な感情表現を見ていると、がんばろうという気になります。」と大学生が話していました。そしてブレーキが思い通りに利くことがわかった瞬間、高等部生と大学生は共に成功を喜び合いました。



“ソーラーカー工房”は玉川学園の高等部生と大学生がともに集い、同じ夢をみて、一つのものを創り上げていこうとする場所です。